

平成31（令和元）年度活動報告

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

1. 平成31（令和元）年度活動の基本方針

個人の生活や企業活動という身近な生活・地域社会に対して、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、新エネルギーの技術開発、普及活動及び技術支援等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与することを方針とする。

その1 地域に根ざした循環型の新エネルギー&省エネでCO2抑制に寄与

その2 緑化推進・循環型社会構築、地域防災等に関わる社会貢献活動の普及、技術支援

2. 平成31（令和元）年度の事業実績概要

今期は、設立から16年（平成15年11月25日設立）が経過した事業年度であった。

平成30年3月1日から、日本水泳振興会・NTTファシリティーズ共同事業体が屋内プールを含む運動施設とリサイクルプラザを一体的に管理運営する指定管理者となり、このうちリサイクルプラザのリサイクル部門について当法人が業務再委託を受けて指定管理者と共同して事業を推進した。また、長野県から受託した『地域エネルギー事業者担い手育成事業委託』等の遂行を通じ自然エネルギー事業の普及に努めた。

また、長野市緑と花いっぱい会、自然エネルギー長野北信地域協議会、長野市自然エネルギー普及協議会の事務局支援を行うなど、他団体と協力し事業の幅を広げることができた。

今年度は、4月には隣接する長野市資源再生センターの火災、10月には令和元年度東日本台風による洪水災害、3月以降には新型コロナウイルス感染症対策といった大きな情勢変化があり、その都度、講座・イベント等の諸活動に多大な影響が生じたが、本会の活動においては当初計画と同等の成果が得られた。

3. 活動の成果

平成31（令和元）年度は、（1）温暖化防止対策に関する普及、啓発を図る事業、（2）地球温暖化防止に関する調査・研究事業、（3）自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業、（4）緑化推進に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業（5）自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー、シンポジウム、ワークショップの企画・運営、（6）自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣、技術者派遣、（7）環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業、（8）公共施設の維持・管理・運営を行政機関と協働で行う事業の8事業を行った。

（1）温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業

①イベントによる普及・啓発事業

『19下水道ふれあいデー』などのイベントで、自然エネルギー、県産材を利用した家づくり、雨水利用、剪定枝のクラフトなどの展示物や体験コーナーを出展し、地球温暖化防止に関する普及啓発活動を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘 要
2019/7/26 ～7/30	ダンボールと新聞紙の世界であそぼう！ リサイクルラボ&環境エコイズラリー	長野市リサイクルプラザ	参加者 3,128名 参加者 1,009名
2019/9/7	'19下水道ふれあいデー及び自然エネルギーエコフェスタ	アクアパル千曲	来場者 700名
2019/9/29	ながの環境フェア2019	長野市リサイクルプラザ	全参加者 3,600名 ・展示ブース体験者 30組 ・ながの環境エネルギーセンター見学者 61名
2020/2/22 ～3/8	エコフェス☆プラザ2020&リサイクルアート展	長野市リサイクルプラザ	来場者 1,175名

②NPO活動促進プロジェクト

当NPOの活動を促進するうえで効果的な助成制度に2件応募し、2件が採択された。

○平成31年（令和元）度長野市地球温暖化防止活動支援事業

申請先：長野市地球温暖化防止活動推進センター

テーマ：『ダンボールと新聞紙の世界であそぼう！2019&リサイクルラボ』

内 容：長野市では「低炭素で効率的な暮らし」「環境保全意識の高い暮らし」を望ましい姿とし（長野市地球温暖化対策地域推進計画より）、様々な活動を行っている。

また、全国的にもリサイクルやゴミの減量化への関心が高まるようになるなか、本事業では、イベントに参加することで、リサイクルやごみの減量化、省エネなどについて楽しみながら学び、体験することを通じ、イベントでの体験や知識を普段の生活に取り入れ、エコな工夫を取り入れた快適な生活へとつなげていく事を目的として、イベントを開催した。

助成額：200,000円 実施期間：令和元年7月26日～30日

テーマ：『エコフェス☆プラザ2020&リサイクルアート展』

内 容：全国的にリサイクルやゴミの減量化への関心が高まるなか、不用になった物を使い工夫をこらしたリメイク、リフォーム作品の展示「リサイクルアート展」を開催した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため廃材クラフトワークショップと、リユースイベント「おさがり交換会」は、中止を余儀なくされた。

会期中は、資源の有効活用を意識させたイベントを通じてごみの減量、省エネについての普及啓発活動ができた。また、イベント会場で省エネメッセージカードを配布し、地球温暖化防止の普及啓発に取り組んだ。

助成額：200,000円 実施期間：令和2年2月22日～3月8日

(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業

①県産材利用プロジェクト

地域産の木材の活用を普及させるため、『ながの環境フェア 2019』などに展示ブースを出展し、様々な視点から作られたパネルの展示とパンフレットの配布を行った。

②市民活動支援プロジェクト（エコドライブプロジェクト）

自動車から排出されるCO₂削減と、「環境」と「技術」の両分野に関わる技術者の育成支援を目的として、8月31日（土）『エコマラソン長野 2019』を開催した。第13回となる今回は、クリーンピア千曲において19チームが参加し、全国大会に準拠した燃費計測会を行った。

③ESD（持続可能な開発のための教育）・環境教育プロジェクト

『ダンボール(と新聞紙)の世界で遊ぼう!!』や『自然エネルギーエコフェスタ』など、子供たちが楽しみながら環境学習ができるプログラムづくりと運営を行った。本事業の成果は関連する他の項目でまとめた。

(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業

①地域エネルギー事業者担い手育成事業委託業務

長野県（環境部）からプロポーザルで受託した業務であり、平成25年度に「自然エネルギー人材バンク&情報データベース」を構築し、平成26年度から同システム（ホームページ）の維持管理を行っている。

長野県では、自然エネルギー事業の立ち上がりから事業実施・維持管理まで段階別の技術的、制度的、経営的知見等を有する人材と、地域の担い手とを結びつける中間支援機能の一つとして、県内外の先進的な自然エネルギー事業に携わる専門家や有識者等の人材バンクシステムを構築するほか、関係法令等が整理された情報データベースを構築し、ホームページで公開している。

■活動内容一覧

内容	期間	概要
人材バンク登録者数	2019/4/1～2020/3/31	35名
ホームページアクセス数	2019/4/1～2020/3/26	2,722人 (1日平均 7.5人)

②自然エネルギー信州ネット、関係協議会等の運営支援

自然エネルギー信州ネットの監事を当NPO法人理事長が兼任したほか、自然エネルギー長野北信地域協議会、長野市自然エネルギー普及協議会の事務局として運営支援を行った。

自然エネルギー長野北信地域協議会では、'19下水道ふれあいデーに参加し、小水力や太陽光の分かりやすいエネルギー体験や薪ストーブ・太陽光パネル等の自然エネルギーの展示を行った。

また、自然エネルギー長野北信地域協議会、長野市自然エネルギー普及協議会が作成した長野地域と北信地域の『自然エネルギーハンドブック』と『同ガイドマップ』の配布も行った。

(4) 緑化推進に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業

①長野市緑と花いっぱい会の会運営支援

長野市緑と花いっぱいの会は、48会員(23団体)の会費で会の運営し、公共花壇を中心とした地域住民による緑化活動を展開している。また、一般財団法人ながの緑育協会が行う春と秋の育苗作業に参加協力するなど、長野市の緑育の重要な役割を担っている。

(5) 自然エネルギー・地球温暖化防止・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営

①講演会・セミナー

- ・「信州ブランドの営業力と発信力」～県民・地域の“稼ぐチカラ”の向上に向けて～
日時 令和元年5月18日(土) 17:00～18:00 ホテル信濃路 浅間
講師 長野県信州ブランド推進監兼営業局長 熊谷 晃氏
参加者 17名(会員)

(6) 自然エネルギー・地球温暖化防止・緑化推進に関する活動支援

①活動・事業支援

行政機関、関係団体等からの要請により、委員会などに参画し、活動支援を行った。

特に、中野市バイオマス産業都市構想策定委員会において策定した構想により、長野県内で初となる国(1府6省)の「バイオマス産業都市」に選定された。

■活動内容一覧

(いずれも委嘱された理事長が出席した)

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2019/04/15	第1回 中野市バイオマス産業都市構想策定委員会	中野市役所	委員(委員長)
2019/04/15	中野市バイオマス産業都市構想策定委員会 先進地視察	黒部市下水道バイオマス エネルギー活用施設	委員(委員長)
2019/07/17	第12期第8回 長野市緑を豊かにする委員会	長野市役所	委員(副委員長)
2019/05/13	一般財団法人ながの緑育協会 令和元年度第1回通常理事会	篠ノ井中央公園	副理事長
2019/05/20	第2回 中野市バイオマス産業都市構想策定 委員会	中野市役所	委員(委員長)
2019/05/28	一般財団法人ながの緑育協会 令和元年度第1回定時評議員会	ホテル信濃路	副理事長
2019/07/12	令和元年度長野市バイオマスタウン構想推進 協議会 視察	ながの環境エネルギー センター	協議会副会長
2019/07/30	第17回 長野県移動性・安全性向上検討委員会	長野合同庁舎別館	委員
2019/08/01	第1回 長野市林業振興審議会	若里市民文化ホール	委員(副委員長)
2019/08/02	長野市バイオマスタウン構想推進協議会 第1回木質バイオマス利活用部会	若里市民文化ホール	協議会副会長・部会長
2019/09/13	長野市環境審議会 地球温暖化対策専門部会	長野市役所	委員
2019/10/07	一般財団法人ながの緑育協会 令和元年度第2回臨時理事会	篠ノ井中央公園	副理事長
2019/11/28	平成31(令和元)年度長野市地球温暖化防止推 進センター運営委員会	長野県環境保全協会	運営委員

2020/01/21	第13期第1回 長野市緑を豊かにする委員会	長野市役所	委員（委員長）
2020/01/22	第2回 長野市林業振興審議会	長野市役所	委員（副委員長）
2020/02/19	一般財団法人ながの緑育協会 令和元年度第3回臨時理事会	篠ノ井中央公園	副理事長
2020/02/12	平成30年度 長野市バイオマスタウン構想推 進協議会 役員会	長野市ふれあい福祉 センター	協議会副会長
2020/03/03	第3回 長野市林業振興審議会	長野市役所	委員（副委員長）
2020/03/18	第13期第2回 長野市緑を豊かにする委員会	長野市役所	委員（委員長）

②流域環境研究所

一般社団法人社会活動機構と連携し、戸隠イースタンキャンプ場において、キャンプ場内の生物多様性維持向上や環境教育の場としての活用方策の現地調査を行った。また、学校ビオトープの視察や、問合せ対応などに取り組んだ。

（7）環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業

①雨水循環利用プロジェクト

’19下水道ふれあいデーなどにおいて、雨水循環利用についての普及啓発活動を実施した。

②森のエネルギー推進プロジェクト

化石燃料に替わり、地球温暖化防止・環境保全に寄与できる木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブの普及啓発に取り組んだ。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2019年度	ペレット（長野森林組合産）販売代行	事務局	1,889袋

③地域産木材の普及啓発活動

地域産の木材の活用を普及させるため、イベント会場での設営に県産材を用いるなどし、普及啓発活動に取り組んだ。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2019/9/7	’19下水道ふれあいデー及び 自然エネルギーエコフスタ	アクアパル千曲	来場者 700名
2019/9/29	ながの環境フェア2019	長野市リサイクルプラザ	全参加者 3,600名 展示ブース体験者 30組 ながの環境エネルギーセンタ ー見学者 61名

(8) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業

①指定管理者プロジェクト

本NPOの事業目的である「公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う」を実践するため、施設の指定管理者と共同で公共施設の利用促進・利用者へのサービス向上を目指し、NPOと行政機関との協働でゴミの減量化とリサイクル促進を目的とした維持・管理・運営を行った。

■長野市リサイクルプラザ

リサイクルの情報発信地として、情報コーナー・レインボー広場などにおいて、ごみの減量・再利用の情報、体験講座・教室などの提供、リサイクル広場での不用品の展示・提供、さらにリサイクルを推進する市民グループ（リサイクル連絡会）に活動の場を提供した。

なお、新焼却場建設に伴い長野市リサイクルプラザの指定管理業務は30年2月28日をもって契約満了となった。H30年3月1日からは、屋内プールを含む運動施設を一体的に管理運営する日本水泳振興会・NTTファシリティーズ共同事業体の指定管理者から当NPO法人がリサイクルプラザのリサイクル部門についての業務再委託を受け指定管理者と共同して事業を推進している。

■活動内容一覧（平成31年4月1日～令和2年3月31日までの活動）

実施日時	事業内容	摘要
2019/4/1 ～2020/3/31	施設利用者	利用者総数 72,694名 (前年度 72,077人 100.9%)
2019/4/1 ～2020/3/31	ボランティア団体利用 (リサイクル連絡会 13グループ)	利用者 742名
2019/4/1 ～2020/3/31	ゆめ工房21体験講座 (10グループで63回開催)	参加者 499名
2019/5, 6, 7, 9, 11月 2020/1, 3月	リサイクル広場 (奇数月を基本に7回開催)	利用者 4,490名
2019/4/1 ～2020/3/31	指定・自主事業 21回開催	参加者 19,189名
2018/7/26～7/30	『ダンボールと新聞紙の世界であそぼう！』	参加者 3,128名
2019/ 4, 5, 6, 9, 10, 11月	フリーマーケット6回開催 (共催/内1回ながの環境フェア開催)	参加者 10,250名
2019/9/29	ながの環境フェア 2019開催 (共催)	全参加者 3,600名 ・展示ブース体験者 30組 ・ながの環境エネルギーセンター見学者 61名 (3回実施)

■長野市リサイクルプラザにおける特徴的な事業

○『ダンボールと新聞紙の世界で遊ぼう！』・もったいないおぼけやしき

資源や不用品に関心を持ち、資源の有効活用、ごみの減量化、リサイクルの促進につなげ、地球環境保全へと発展させていく目的でダンボールタウン制作委員会と共同で開催した。7月26日～30日に開催し、延3,128名の来館者が訪れた。なかでもお化け屋敷は、例年通り大好評で「もったいない、もったいない」と唱えて省エネを心掛ける気持ちになると怖さが穏やかになる、というストーリー性を強調。夏休み期間中の小さな子どもたちが楽しくエコ体験することができた。

○おさがり交換会

まだ使える子ども服、運動着、絵本、児童書等の「おさがり交換会」の企画運営を、一昨年度

よりリサイクルプラザの指定事業として行い、交換会をリサイクルプラザの大会議室で3回、出前をして外部イベントで2回開催。品物の受入れのみを毎月実施した。ダンボールと新聞紙の世界であそぼう！（7月26日～30日）、'19下水道ふれあいデー及び自然エネルギーエコフェスタ（9月8日）、などのイベントともタイアップし、受入14,404点、交換6,926点、提供（有料・無料含む）2,265点の成果をあげた。

○サンデーキッズエコ体験（今年度新規）

4月より毎月第1日曜日の午前中、来館した小学生以下の子ども向けにリサイクル工作コーナーを施行開催した。

○被災者限定の無料提供日

令和元年度東日本台風洪水災害の被災者からの問い合わせや要望を受け、従来の当リサイクルプラザでの活動のしくみを活かして、12月15日・16日の2日間の自主事業として開催した。住民自治協議会、公民館、復興関連施設などの協力によりチラシ2,000枚を配布したり、被災者間での口コミにより、大きな反響があった。

開催した2日間で470組（1,289人）が来場し、4,846点（ゆずりますコーナー、大型家具・自転車コーナーを除く）のリサイクル品を提供した。

このリサイクル品は、市民からの提供を呼びかけて集まったもので、2日間で残った品物は、常設コーナー（持帰り品コーナー、即売品コーナー）や即売市（2月8日から10日）で提供した。この際も、被災者には提供する品数を緩和するなどし、市民の協力を得ながら当施設の特色を活かした被災者支援の大きな成果となった。

（9）その他

平成31（令和元）年度は、長野市や他団体との連携事業として、長野駅善光寺口駅前広場における公共花壇イベント（長野駅善光寺口利活用ネットワークや善光寺花回廊実行委員会と共催）などの公共的事業を多く企画、運営し、今後に向けての人的ネットワークの構築や環境保全、まちづくりに関する知識や技術を蓄積した。